

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

7月号



学校教育目標

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

自分から進んで

校長 岩崎 健治

梅雨の候、蒸し暑く不安定な天気が続いています。本格的な夏が間近なようです。

6月17日に行われました土曜参観では、多くの保護者の皆様にお越しいただき、子どもたちの様子を参観していただきましたこと、誠にありがとうございました。また、6月22日にプール開きの集会を行い、26日から高学年の水泳学習が始まりました。実に4年ぶりとなる水泳学習です。まずは、子どもたちが安全に安心して水泳学習ができ、泳力を高めながら、ルールを守って楽しむことができたらと思っています。水泳学習を始めるにあたり、保護者の皆様には、ご理解・ご協力を頂きましたこと心より感謝申し上げます。6月27日の朝会では、「自分からすすんで」何かをすることについて話をしました。『すすんで挨拶をする。自分からすすんで良いことをする。すすんで行動をすることは、自分勝手にすることではなく、あるルールのもとに良いことにチャレンジすること。そうすると自分も楽しくなる。嬉しくなる。笑顔になる。またやってみたくなる。』というような話をしました。



《奈良の丘サポーターの掲示板》

本校では今年度、国語科を中心に「身に付けた語彙力を使って自分の考えをよりよく表現するための工夫」をテーマとしながら、子どもたちの主体性、伝え合うこと、話すことなどを大切にしていって授業改善や授業力向上を目指しています。

学校生活の中で、子どもたちは、自らすすんで様々な活動に取り組むことで、できるようになったり、最後までやり遂げたりしたことを喜びとして実感し、満足感や達成感を感じているのではないかと思います。また、主体的に取り組んだことが、認め、ほめられることでよい行動が価値づけられ、さらにつぎへの意欲に結びつき自分の成長を実感するのではないかと思います。仮にうまくいかなかったとしても「大丈夫」「次があるよ」「よく挑戦したね」という言葉がけをしていけたら、「また次やってみよう」という、チャレンジする気持ちになるのではないかと思います。主体的にすすんで取り組む一つひとつの学びに、価値感をもつことは満ち足りた気持ちになり、学校生活を楽しく送るためにも大切なことです。教職員は子どもたちが安心して豊かに学校生活を送り、自分からすすんで良い行動ができるよう、子どもの心に寄り添った支援や指導を続けてまいります。今後ご家庭、地域の皆様と一緒に子どもたちの成長に向けて努力してまいります。